

DAWN 通信

★特集

【今年度の事業展開】
このような事業を展開していきます ②

■ 事業報告／イコラム情報 ④

■ はなみずきスタディツアー／ピックアップ ⑤

■ 新運営体制／賛助会員募集中 ⑥

第16号

2013. 6

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団は「男女が対等な立場で、あらゆる分野に参加・参画できる社会づくり」の視点から、多様な価値を受容し、一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できる真に豊かな社会の実現に貢献します。

新しいステージに立つ財団にご支援を

日ごろから財団の活動にご協力をいただき、誠にありがとうございます。おかげさまで財団は、平成25年度で、大阪府の補助金に頼らない自立化から4年目、国の公益法人制度改革に伴う一般財団法人への移行から2年目を迎え、順調に滑り出すことができました。

大きな変動期に、私たちが掲げてきたスローガンは「明るく元気な大阪のために」と「女性も男性も、子どもも高齢者も、すべての人が生きやすい男女共同参画社会づくりのために」の2つです。スローガンを活かすには、しっかりした財政基盤を築き、組織を維持していかなばなりません。そのために私たちは、平成22年度の自立化以降、大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）での大阪府男女共同参画推進事業をベースにしながら活動範囲を広げ、国や他の自治体事業を競争入札、公募選考で獲得してまいりました。

これら受託事業とともに、財団の自主事業として、今年度は「働く女性支援・はなみずきプロジェクト」や「アメリカスタディツアー」といった大型企画を展開します。

平成6年4月の財団設立以来、大阪府の行財政改革による組織のたび重なるスリム化や自立化、新法人移行といった曲折を経て、財団はいま、名実ともに自らの足で新しいステージに立ちつつあるところです。男女共同参画社会の実現を使命として、社会に必要とされる法人であり続けるよう、今年度も職員一丸となって取り組んでまいりますので、皆さまの一層のご支援をお願い申し上げます。

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団
理事長 時岡禎一郎

財団ホームページ
<http://www.ogef.jp>

ただいま、情報発信中!!

twitter アカウント

@O_G_E_F

ブログ更新中

業務執行理事・白井 文の
ブログが始まりました。

<http://ameblo.jp/ogef/>

※財団のホームページはドーンセンターの
ホームページからお入りいただけます。

受託事業

●大阪府からの受託事業

◎ドーンセンター指定管理業務

- ・会議室貸出 ・施設管理 ・グループ活動支援
- ・一時保育事業の運営 ・視察対応

◎相談事業

- ・女性の悩み電話相談
相談専用電話 06-6937-7800
火～金 17:00～20:00
土・日 10:00～16:00
- ・女性のための面接相談(予約制)
相談事務局 06-6910-8588
火～金 13:30～18:00
18:45～21:00
土・日 9:30～13:00
13:45～18:00
- ・カウンセラー派遣
- ・大阪府内市町村における相談員及び相談事業関係者のための事例検討・ネットワーク会議

◎不妊専門相談センター事業

- ・不妊にまつわる電話相談
相談専用電話 06-6910-8655
毎週水曜日 10:00～16:00
(第5週・祝日・年末年始は除く)
第4土曜日 13:00～16:00
(4月、8月、12月は除く)
- ・サポート・グループ 5月～3月
「不妊治療後の妊娠・出産・子育て」他
- ・セミナー「不育症の基礎知識」など
- ・専用HP運営など

◎男女共同参画に関する情報の収集及び提供に関する事業

- ・ドーンセンター情報ライブラリーの運営
開館時間 火～木、土 9:30～17:30
金 9:30～20:00
- ・ドーンセンターHPの運営
- ・メールマガジンの発行
- ・キャリアカウンセラーによる個別就労相談

◎男女共同参画社会の実現に資する人材養成・啓発事業

- ・市町村職員等研修 ・学校教職員向け啓発講座
- ・企業・働く人向け対象講座 ・男性対象講座

◎女性に対する就労支援事業

- ・大学生への就労支援セミナーと企業説明・交流会の実施

●東大阪市からの受託事業(指定管理)

2011年4月より指定管理者としてイコーラム(東大阪市立男女共同参画センター)の管理運営及び事業を担っています。

◎イコーラムの管理運営

- ・施設設備の維持管理 ・施設使用許可業務
- ・印刷サービス、視察対応等

◎イコーラム事業

- ・調査研究・啓発事業 ・情報収集・提供事業
- ・女性のための相談事業 ・男女共同参画推進講座
- ・一時保育事業 ・登録団体支援
- ・その他

●内閣府からの受託事業

◎「平成25年度東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」

●厚生労働省からの受託事業

◎「ポジティブ・アクション展開事業」

●三重県伊賀市からの受託事業

◎クローバーカレッジⅢ
「女性リーダー養成講座」

●大阪府泉大津市からの受託事業

◎泉大津市男女共同参画リーダー養成講座
「にんじんカレッジ 初級編」

●大学からの受託事業

◎近畿大学総合社会学部
「キャリアサポートセミナー」他

◎商工労働部雇用推進室委託訓練事業

- ・母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練(訓練期間 各2ヵ月 2013年5月～2014年2月)

行動型！理事会

自立化して4年目。本格的にファンドレイジングに取り組んでいきます。

自主事業

自主事業の中には基金や助成金によって運営されているものもあります。

●「はなみずき基金」充当事業

府内在住の女性篤志家から当財団にいただいた寄附金で設置した基金を活用します。

- ◎はなみずき塾Ⅱ (5回)
- ◎はなみずき塾(ポッドキャスト) (5回)
- ◎はなみずき塾(自分発見ワークショップ)(5回)
- ◎はなみずき塾(自己表現ワークショップ)(5回)
- ◎シングルマザーのためのはなみずきセミナー(4回)

◎ドーン・シネマクラブ(5月)

◎女性芸術劇場(未定)

●助成金事業

助成金を活用して事業を実施します。

- <「ACC」(在日米国商工会議所 関西支部)助成>
- ◎はなみずき塾Ⅱ (5回)
 - ◎はなみずき塾(ポッドキャスト) (5回)
 - ◎はなみずき塾(自分発見ワークショップ)(5回)
 - ◎はなみずき塾(自己表現ワークショップ)(5回)
 - ◎シングルマザーのためのはなみずきセミナー(4回)

- <公益財団法人 大阪コミュニティ財団助成>
- ◎第2回東北女性の手仕事物産展
「どーんと東北!いわて、みやぎ、ふくしま」(6月)

●賛助会費充当事業

賛助会費を活用して事業を実施します。

◎相談カウンセリングに関わる人材育成事業

- ・フェミニストカウンセリング専門講座(時期未定)
- ・スーパービジョン講座(時期未定)

◎広報事業

- ・財団ホームページの運営
- ・ニューズレター『DAWN通信』の発行

◎次世代育成事業

- ・インターンシップ・プログラムの実施
- ・新任教員研修の受け入れ
- ・JOB プラザ OSAKA・大阪府若者サポートステーション職場体験受け入れ
- ・図書館司書課程実習生受け入れ

●その他の事業

◎相談事業

- ・女性弁護士による法律相談
- ・DV被害者支援のためのサポートグループ

◎情報発信事業

- ・海外女性監督ドキュメンタリー作品の収集・加工・販売
- ・『Women Pioneers- 女性先駆者たち』の販売
- ・ハンドブック、書籍の販売

◎スタディツアー

- ・アメリカ編 9月、12月(予定)
- ・東北編 6月、秋開催予定
- ・出石永楽館 歌舞伎鑑賞ツアー

◎講師派遣、委員等応職

●共催事業

◎研究機関、団体、NPO との共催 他

*事業内容・時期等は変更になる場合があります。

昨年度、内閣府から3事業を競争入札で受託しました!

●「平成24年度 東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」

被災地においては、長引く仮設住宅での暮らしや生活不安などの影響によるストレスの高まりなどから、女性が様々な不安や悩みを抱えることや、女性に対する暴力が生じることなどが懸念されています。内閣府は地元自治体と共催、女性団体等の協力を得て、岩手県・宮城県・福島県で相談事業を実施、私たちは事務局を務めています。

相談では、相談者の気持ちに寄り添い、悩みを傾聴し、不安の解消に向けた取組をとともに考えるとともに、状況に応じて他の支援の窓口につなぎ、具体的な問題解決をめざしています。

2011年冬から、担当者として東北地方を訪れる機会が増えました。私たちがができること、大阪でできることをどんどん考えていきたいと思っています。(仁科あゆ美)

●「平成24年度 男女共同参画センター等における性犯罪被害者支援体制整備促進事業」

性犯罪被害者が、被害を訴えることを躊躇せずに必要な相談を受けられるような相談体制を整備することを目的として、地域の身近な相談窓口である男女共同参画センター等で性犯罪被害の相談が安心して受けられるよう、関係者を対象とした研修を実施、事務局を務めました。

(仁科あゆ美)

●平成24年度「配偶者からの暴力被害者支援のための官官・官民連携ワークショップ事業」

全国の配偶者暴力相談支援センター(以下、「支援センター」)における相談件数は、支援センターの運用が開始された平成14年度から年々増加しています。こうした状況から、内閣府では、第3次男女共同参画基本計画におきまして、配偶者暴力防止法により設置の努力義務が規定されている市のセンターについて、平成27年までに100か所にすることを成果目標としています。

この目標達成のため、内閣府主催の当事業では、全国の支援センターや今後支援センターの設置を検討している市町村において運営・管理に責任を持つ方や行政担当者、また、支援センター及び連携先である民間支援団体の相談員を対象とした計6回のワークショップを開催しました。さらに、今後、全国各地で支援センターの設置を検討している市町村の参考にさせていただくため、ヒアリング等により収集した10市区の支援センターにおける先駆的な取組事例を報告書としてまとめました。

ワークショップの場で出会った全国各地の担当者や、取組事例報告書作成にあたってヒアリング等にご協力くださった方々からは、事務局である当財団への信頼が寄せられ、そのおかげで各事業を円滑に運営することができました。これらのご協力が得られましたのは、これまでの当財団による女性に対する暴力に関する取組の実績を評価して下さっている所以であると感じました。今後も、配偶者暴力被害者支援に繋がる全国展開事業を支える役割を担うことができる組織でありたいと考えています。(木下みゆき)

イコーラム情報

男女共同参画週間 記念のつどい 開催

平成25年6月29日(土)午後1時30分～4時

当財団が指定管理者として管理運営を行っている東大阪市立男女共同参画センター・イコーラムでは、平成25年6月29日(土)に「男女共同参画週間 記念のつどい」を開催します。

このつどいは、国が定める「男女共同参画週間」(6月23日～29日)にちなみ、東大阪市民に男女共同参画とその拠点施設であるイコーラムについて広く知っていただくために開催するものです。

今年度は、「笑顔広がる幸せ社会～みんなが安心の未来をめざして～」をメインタイトルに、午後1時30分から4時までイコーラムホールで、先に公募した「男女共同参画社会に向けて ひとことメッセージ」の入選作品の紹介、東大阪市立枚岡中学校吹奏楽部のオープニング演奏、そして、『夫源病～こんなアタシに誰がした』『妻の病気の9割は夫がつくる』等の著書で有名な大阪樟蔭女子大学教授・石蔵文信さんの講演「こころとカラダの健康は“男女共同参画”から!」を行います。

また、ギャラリーでは、6月22日(土)から7月6日(土)まで、ホールで紹介する「ひとことメッセージ」全入選作品をパネルにしたも

のと啓発パネル「湖夢(こゆめ) ニュータウン」を展示します。ぜひ、このつどいに参加して、みんなが自分らしく生き生きと生きることができる社会の実現に向けて、女性も男性も一緒に考えてみませんか。





アメリカのNGOに学ぶ

数年来温めていた企画、
やっと実現できそうです!

アメリカで成功している女性NGOを訪問し、エンパワメントのプログラム、ソーシャル・ビジネス（社会的企業）の視点から、持続可能な組織・体制をつくっていくための、ファンドレイジング（資金獲得）の方法、地域の賛同者・協力者とのネットワークのつくり方など、具体的な組織運営の方法を学びます。

素敵な女性リーダーたちとの出会いから、大きな刺激とたくさんの元気をもらいましょう！
私たちの活動を広げ、組織を発展していくための、ヒントをもらう旅です。

- 【時期】2013年9月上旬（7日間程度）
 【訪問地】デンバー（コロラド州）、
 サンフランシスコ（カリフォルニア州）
 【スケジュール】
 1日目 関西空港→サンフランシスコ
 →デンバー（飛行機）
 2日目 デンバー（終日NGO訪問）（専用車）
 3日目 デンバー（NGO訪問・午後自由観光
 など）（専用車）
 4日目 デンバー（NGO訪問・ロッキー山脈
 周辺観光）（専用車）
 5日目 デンバー→サンフランシスコ
 （自由観光など）（飛行機・専用車）
 6～7日目 サンフランシスコ→関西空港
 （飛行機）

ファッションと
メイクアップで
自信を取り戻す！

Dress for Success
 (ドレス・フォー・サクセス)

- 本部はニューヨーク。全米各地に支
 部があり他欧州や南米にも展開。
- 様々な困難を抱えながら再就職をめ
 ざす女性に服装をトータルコーデ
 ィングしながら、さまざまなトレー
 ニングを行い、就職までも支援する
 体制を確立。スーツや靴等は働く女
 性たちからの寄附。

【訪問予定NGO例】

シングルマザーや移民女性な
 ど、困難な状況にある女性たち
 を勇気づけ、支援し、自立につ
 なげているNGOを訪問し、就労
 支援等やエンパワメントのさま
 ざまなプログラムについて学び
 ます。

心地よい職場環境で
 元気に働く！

★デンバー

Women's Bean Project
 (ウィメンズ・ビーン・プロジェクト)

- 1989年創設。異性保護女性の自立
 支援を行う。豆スープセットなどの
 商品のブランド化に成功。年商100
 万ドル超。女性たちがエンパワメン
 トする就労訓練を行う。

アメリカ合衆国

「食」分野の
 プロになる！

Work Option For Women
 (ワーク・オプション・フォー・ウイメン)

- シングルマザーが職業訓練として料
 理技術を学ぶ過程で、自信を取り戻
 す。訓練終了生はオフィス街のカ
 フェを経験後、ホテルやレストラン
 等の料理人として働く。

メキシコ



*スケジュールは変更する場合があります。
 *詳細は決まり次第、チラシやHPで参加者を募集します。
 楽しみにお待ち下さい。
 下見を含めて企画運営まで当財団の仁科が担当しています。

ピックアップ

情報ライブラリーから 耳^①よりのお知らせ

「テーマ別資料セット貸出」を始めました。

情報ライブラリーでは、平成25年6月より、府内市町村をはじめとした男女共同参画/女性センターや学校・大学・
 団体・グループ等を対象に、男女共同参画関連の様々なテーマのご要望に応じて、所蔵する図書や雑誌をまとめて貸
 出すサービスを開始しました。各機関での講座やイベント、あるいは学校や大学の授業等でご活用ください。
 詳細は、お気軽に情報ライブラリーまでお問い合わせください。

- テーマ例：「ドメスティック・バイオレンス」「子育てを楽しもう」
 「キーワードは女性社員の活躍」「メディアと女性の人権」
 「セクシュアル・ハラスメント」等
- 貸出冊数：30冊以内
- 貸出期間：1ヶ月
- 利用料金：無料（ただし、往復の送料はご利用機関に
 ご負担いただきます。）
- 問合せ先：情報ライブラリー
 TEL：06-6910-8616
 FAX：06-6910-8617
 e-mail：lib@dawncenter.or.jp

これ、
 ぜ～んぶまとめて
 貸し出します！



新運営体制

- 【評議員】 尼川 洋子 (人と情報を結ぶWEプロデュース代表)
 上田理恵子 (株式会社マザーネット代表取締役)
 高田 昌代 (神戸市看護大学教授)
 早瀬 昇 (社会福祉法人大阪ボランティア協会常務理事)
 松尾 園子 (弁護士)
- 【理事長】 時岡禎一郎 (学校法人大阪女学院監事)
- 【業務執行理事】 白井 文 (グンゼ株式会社取締役)
- 【理事】 泉谷八千代 (NHK奈良放送局長)
 金光 哲司 (大阪府男女共同参画推進財団事務局長)
 川中 大輔 (シチズンシップ共育企画代表)
 段林 和江 (弁護士)
 仁科あゆ美 (大阪府男女共同参画推進財団統括ディレクター)
- 【監事】 畑 律江 (毎日新聞大阪本社学芸部専門編集委員)
 田上 時子 (女性と子どものエンパワメント関西理事長)
 林 紀美代 (公認会計士)

(平成 25 年 4 月 1 日現在 50 音順)

賛助会員募集中!

「男女共同参画社会の実現」を目指す
 財団事業への支援をお願い致します。

特典も!

財団主催講座の参加費が 1 割引になるなどの特典もあります。周りの方にも賛助会員にどう?と是非お勧めください。次号で賛助会員(個人・団体)の方々をご紹介します。

～昨年度の賛助会費はこのように使わせていただきました～

昨年度いただいた賛助会費は、売り切れていた「相談ハンドブックの改訂・増刷(各 300 冊)」や「HPの改訂」などに使わせていただきました!



1999 年から息長く利用され、増刷を望む声の高かった相談ハンドブック

平成 24 年度 賛助会費収支計算書

H25. 3. 31

賛助会費		口数	収入額		
個人会員	1口3,000円 90人	136	408,000		
企業会員	1口10,000円 6企業	13	130,000		
非営利団体会員	1口5,000円 23団体	21	105,000		
合計		170	643,000		
充当事業		回数	事業収入	支出額 (人件費含む)	賛助会費 個別充当額
充当事業	相談ハンドブックの改訂及び増刷		58,250	288,330	230,000
	財団HPの改訂		0	200,760	200,000
	イコーラム自主事業(写真講座)他		51,000	133,418	80,000
事務局経費	ニュースレター(DAWN通信)他	3	0	191,710	133,000
合計			109,250	814,218	643,000
総合計			752,250	814,218	
収支差引額				-61,968	財団自主負担
次年度繰越金額					0

HPの改訂は、財団の新しい事業内容を、より早くよりビジュアルにみなさんにお伝えするために、そしてみなさんのご意見をより多く聴かせていただくために、特に必要なことだと考えました。賛助会費で改訂したHPを大いにご利用ください。財団も充実に努めます。(表紙をご覧ください!)



財団に関する最新情報は、ホームページでご案内しています。→ <http://www.ogef.jp>

ogef

検索

編集・発行 一般財団法人 大阪府男女共同参画推進財団 ニュースレター編集部
 〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49 ドーンセンター3F
 TEL: 06-6910-8615 FAX: 06-6910-8624
 E-mail: info@ogef.jp http://www.ogef.jp/

発行日:平成25(2013)年6月10日